

交野市で暮らしていく

いいイメージのあること

男	人数	女	人数
1位 自然が多い	27	1位 自然について	26
2位 山がある 公園がある	6	2位 緑が多い 公園について	10
4位 空気がきれい 大池がある	5	4位 山について 水について	9

悪いイメージのあること

男	人数	女	人数
1位 ポイ捨て	9	1位 お店が少ない ごみ	14
2位 不良	8	3位 不審者	12
3位 道 高速道路	7	4位 高速道路	11
5位 大きな店がない 不審者	6	5位 街灯が少ない	10

あなたがしている、知っている、学校生活や、まちや暮らしにとってちょっと役立つ活動、取り組み

1位 パトロール	30	ボランティア（ごみひろいなど）	5	川の掃除	3
2位 ごみひろい	27	ポイ捨てをしない	5	学校のイベント	2
3位 そうじ リサイクル（物を大切に）	18 10	子供の安全を見守る人 募金活動	5 4	火の用心 花植え	2 2
ゴミの分別 草とり	6 6	大池の掃除	4		

実施時期：平成20年11月（3日間）

調査実績：回答者数187人

調査対象：交野市立第三中学校2年生

作業主体：交野市立第三中学校2年生7名

資料6 市民満足度調査

本市で2年に1度実施している主要施策34項目への満足度、重要度の5段階評価の結果をもとにニーズ得点（重要度が高くかつ、満足度が低いほど、点数が高くなる指標）の上位5番目の項目についてその推移をみると、交野市民の施策に対するニーズは、「社会保障」「安全」「医療」に関する項目が高まっている結果となっている。

ニーズ得点上位5番目の項目の推移（参考項目）

平成20年度調査		平成18年度調査	平成16年度調査
第1位	社会保障制度	15.16	第2位 14.63
第2位	交通安全対策	14.40	第1位 15.12
第3位	救急医療サービス	13.81	第4位 14.18
第4位	犯罪のない安全なまちづくり	13.70	第5位 13.76
第5位	安全で快適な道路交通	13.23	第2位 14.91
	高齢者福祉	13.02	第3位 14.37
	児童福祉	12.85	12.44
		13.17	12.70

調査方法：20歳以上の市民（外国人登録含む）2,000人に郵送

ニーズ得点=重要度得点 × (6-満足度得点) なお、ニーズ得点の範囲は1から16となる

資料5 トレンド調査

今後10年間に市民生活に与える影響が大きなトレンドをデルファイ調査の手法を活用して集約したところ、「高齢者の増加」「医療制度の変化」「子ども人口の減少」「雇用環境・条件の変化」「世界規模での金融危機の高まり」「社会保障制度の見直し」「エネルギーなどの資源の確保」「自然災害の増加」などが上位となつた。また、交野市が戦略的に取り組む重要度が高いトレンドとして、「高齢者の増加」「子ども人口の減少」「医療制度の変化」「公教育の水準」「社会保障制度の見直し」「エネルギーなどの資源の確保」「自治体レベルでの行財政の構造改革」「水・食糧の世界規模での争奪戦」が上位となつた。

市民生活に与える影響度合いが高いトレンド

高齢者の増加
医療制度の変化
子ども人口の減少
雇用環境・条件の変化
世界規模での金融危機の高まり
社会保障制度の見直し
エネルギーなどの資源の確保
自然災害の増加
新興感染症の流行
治安の悪化
生活の質の2極化（貧富の差の拡大）

交野市が戦略的に取り組む重要度が高いトレンド

高齢者の増加
子ども人口の減少
医療制度の変化
公教育の水準
社会保障制度の改正
エネルギーなどの資源の確保
自治体レベルでの行財政の構造改革
水・食料の世界規模での争奪戦

*いずれも度合いの高い順に並べている

行政と市民の協働に関するアンケート調査（市民満足度調査付随調査）では、「子どもの見守りや地域の防犯・防災活動」「公園やまちなかの美化や花壇づくりなど緑化活動」「山や川などの保全や管理などの活動」「リサイクルやリユースなどごみを減らす環境活動」については、ある程度協働が進んでいると評価されているが、「幼稚園・保育所、小・中学校との連携による次世代育成支援」「地域での助け合いなど福祉活動」「まちなみ保全や管理などの活動」「国内外の他地域の市民との交流活動」「文化や技術を伝承・創造していく活動」「イベントやボランティア活動などの生活情報の発信」では、「あまり進んでいない」という評価の方が多くなっている。

アンケート協力：摂南大学全学部教員 実施時期：平成20年12月～3月

調査実績：第1回 66名、第2回 50名、第3回 21名